

東京X植村会長が農場管理獣医師協会でX豚ブランド化政策を講演

トウキョウXアソシエーションの植村光一郎会長は、農場管理獣医師協会(FMVA)の第1回通常総会の記念講演で「幻の豚 TOKYOXの生産と流通」と題して講演した。講演で植村会長は「同獣医師会が進めようとしているFMVA認証牛の理念、時代背景、経済的な背景と具体的な戦略が重要なポイントであり、X成功の事例を理解して頂き、事業推進の成功のためにはブランド化政策が重要。FMVA認証牛が流通業界で認知されるのも、このブランド化政策の成功に掛かっている」として①需要と供給のバランス②的確な販売場所③販売戦略の方向性の統一④古い体質の商習慣の打破⑤環境の整備、提案⑥川上の生産者ほど末端の消費者の事を考えること⑦定期的な継続性により生理的に良いことを判断させる⑧消費者という審判のもと、生産者と流通者は正直で平等でなければならぬ⑨ブランド化を高める最も簡単な作業はその質を高めることであり、ニーズやトレンドを把握することよりたやすいなどと述べ、FMVA認証牛が全国展開という成功を収めるための参考となればと締めくくった。

### コープこうべの07年度決算、売上高0.4%減

コープこうべの2007年度の決算は供給高(売上高)2688億1700万円(前年比0.4%減)、経常剰余金36億300万円(12.5%減)、当期剰余金41億5400万円(7.0%増)となった。既存店の供給高の低下や、閉店・改装による長期の店舗休業が供給高の減少に繋がったとしている。部門別の供給高では生鮮食品が0.5%増、加工食品も0.2%の増加。客数は3.2%減少し、客単価は2149円で10円増加した。組合員は6万人が新規加入し、135万人。今年度は老朽化した店舗のスクラップ&ビルドの推進などの投資に75億円を見込む(前年68億円)。また、人事や物流で提携する大阪北生協(大阪府豊中市)と、合併に向けて話し合いを進めるとしている。業績予想は供給高2687億2800万円(0.1%減)、経常剰余金24億5900万円(31.8%減)、当期剰余金31億4600万円(24.3%減)。

### NZ政府、新たな家畜の識別とトレーシングシステムを援助

ミート&ウールニュージーランドによると、5月22日、NZ政府は1010万NZドルを国内家畜の識別、トレーサビリティ(NAIT)システム、さらに農場の登録に対して投資するとともに、今後4年間にわたりシステムの実施に1320万NZドルを予算化していくことを決めた。ミート&ウールニュージーランドはNAITの導入を推進している委員会のメンバーで、RFIDタグを使った牛と鹿の識別システムの開発に携わっている。